

水 フォーラム 2009

東京湾と荒川・利根川・多摩川を結ぶ



水環境を考える

利根大堰と武蔵水路の成立
《水道の水はどこからくるの》

2009年9月13日(日)

10:00~16:30(受付9:30~)

大宮ソニックシティ〈小ホール〉

参加
無料



水フォーラム2009へのメッセージ

NPO法人 東京湾と荒川・利根川・多摩川を結ぶ水フォーラム代表理事

水フォーラム2009実行委員長 大石昌男

第7回目の水フォーラムに、賛同、協力、後援をいただいた関係各位に心からお礼を申し上げます。

主要なテーマは、「水環境を考える＝利根大堰と武蔵水路の成立＝水道の水はどこからくるの」です。

水道の水がどこからくるか、説明できる人は少ない。無関心な人も多い。水道の水は、人が使い、汚れた水となって排水されます。海は世界に繋がり、やがて地球上のどこかに注ぐのです。かつて新宿区にあった「淀橋浄水場」を開鎖するとき、果たして東京都民の水を賄いきれるかと疑いました。これを保障したのは、①利根川上流のダム群、②利根大堰、③武蔵水路です。

この武蔵水路は、2009年から全面改修の事業に着手します。行田市、鴻巣市民が「100年後もこの状態ですか」と私に問いかけた声を今も忘れません。

地元住民からは、(イ)事故防止安全対策、(ロ)洪水内水対策、(ハ)市内小河川への水壘供給、(ニ)両側の環境保全、等々の要望があります。多角的な検討の上、改修計画の説明、着工となります。100プランの水辺再生事業の展開、水質改善や排水対策、冬期の水量確保など、私たちが責任ある対応を要求されているものです。

水フォーラム2009は、日常では、各地、各団体が取り組む活動を基礎にして、大きなうねりをつくって行きます。



「水フォーラム2009」開催によせて

埼玉県知事 上田清司

「水フォーラム2009『東京湾と荒川・利根川・多摩川を結ぶフォーラム』」が盛大に開催されることを心からお喜び申し上げます。

大石昌男代表理事をはじめ、NPO法人東京湾と荒川・利根川・多摩川を結ぶ水フォーラムの皆様には、平成15年の設立以来、「川の守り人」として河川の環境改善に向けた様々な活動を展開しておられることに、深く敬意を表します。

埼玉県は、河川の面積割合が日本一の「川の国」です。私は、この財産を活かして「清流の復活」と「安らぎとにぎわいの空間創出」の2本柱で、平成20年度から「川の再生」に取り組んでいます。

現在、4年間で100か所程度の河川を整備する「水辺再生100プラン」を進めています。今年度中には芝川などモデル箇所の整備を完了し、確かに変わった川の姿を県民の皆様にも実感していただきます。

また、河川の汚れの約7割は家庭から出る生活排水であることから、県内21地域において、食器の汚れをふき取ってから洗う一斉取組や、小・中学校での環境学習など、地域総ぐるみの対策も行っています。

清らかな川の流れには、豊かなみどりも重要な役割を果たしています。森林が水を涵み、その水が豊かな川となり、その川がさらに下流のみどりや生物を育みます。

私はそのような水循環のためには、みどりと川を一体的に再生していくことが重要だと考えています。

そのため、平成20年度には、CO₂を排出する自動車の税金の一部を活用し、CO₂を吸収する森林や身近な緑を保全・創出していく仕組みとして、「彩の国みどりの基金」を創設しました。この基金を活用して、これまでに700ヘクタールの森林を再生するとともに、43か所の身近な緑を創出してきました。

こうした「みどりと川の再生」を実現させるためには、多くの方がその取り組みに「参加」し、みどりや川の魅力を「実感」していただく、そして、その情報を「発信」していくことにより大きなムーブメントを起こしていくことが必要です。多くの方が自らのこととして関心を持ち、行動を起こしていただきたいのです。

「川の守り人」の皆様が一堂に会す今回のフォーラムで、活発な意見交換が行われるとともに、「みどりと川の再生」に、多くの皆様が参加いただくことを、心から期待しております。

水環境を考える 利根大堰と武蔵水路の成立〈水道の水はどこからくるの〉

■とき 2009年9月13日(日) 10:00~16:30(受付9:30~)

■場所 大宮ソニックシティ 小ホール

本フォーラム2009は、(社)関東建設弘済会、治水会・斉藤クリニック(蔵市)の助成を受けて開催されます。

プログラム

《午前の部》

9:30 受付(開場)

10:00 開会あいさつ 実行委員長 大石 昌男

来賓あいさつ ・環境省 ・国土交通省関東地方整備局 ・(独)水資源機構 ・埼玉新聞社

10:45 特別講演



松浦 茂樹 氏

(東洋大学国際地域学部教授〈専攻・国土学〉・荒川の治水翁・斎藤祐美研究会顧問)

(主要著書)「明治の国土開発史—近代土木技術の礎」、
「国土づくりの礎—川が語る日本の歴史」、
「戦前の国土整備政策」、「水辺空間の魅力と創造」(共著)、「河道変遷と地域社会—利根川東遷を中心に」(編著) ほか

演題 利根大堰と武蔵水路の成立

これらの施設は、首都圏の水利用の根幹をなすもので、1964年の東京オリンピックの開催に合わせて建設が進められました。当時、東京は生活用水にも事欠き、東京サバクと揶揄されていました。武蔵水路を通じて利根川の水を荒川に流し、東京に送られたのです。一方、利根大堰からは、埼玉平野を潤す見沼代用水路や葛西用水路などの農業用水も取水されています。厳しい折衝の末、大堰の設置場所が決められました。

建設当時と時代が大きく変わった現在もなお、その重要性は変わりません。地域におけるこれらの施設の役割について、今一度、議論することが必要と考えています。

12:00 昼食・交流(弁当を注文された方は受付で受け取ってください)

《午後の部》

13:00 分科会

1. 武蔵水路 現地からの発信

- | | |
|------------------------------|---------------------|
| 1) 利根導水管理所(調査課) | 4) 鴻巣市(環境政策課・関口泰一) |
| 2) 行田市役所(環境部・小池博士) | 5) 鴻巣の環境を考える会(川島秀男) |
| 3) 行田のNPO(行田水・城まちづくり研究会・中村博) | (質疑) |

2. 水道の水はどこからくるの

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 1) 水道水源マップができるまで(大石昌男) | 4) (株)昭和管工業(鳥田眞一) |
| 2) 埼玉県議会議員・栗橋町(梅沢佳一) | 5) (県)土地水政策課(黒川副課長) |
| 3) NPO法人・PSI協会(長谷川孝雄) | |

3. 水質改善の取り組み

- 1) 家庭排水改善の取り組み (県)水環境課(大木課長)
- 2) 単独浄化槽訪問調査の報告(山田胤雄)
- 3) 水質改善国際フォーラム(マレーシア)の報告
やすらぎの水を求めて、水質二法制定50年記念シンポ(幾島淑美)

16:30 総評 松浦 茂樹

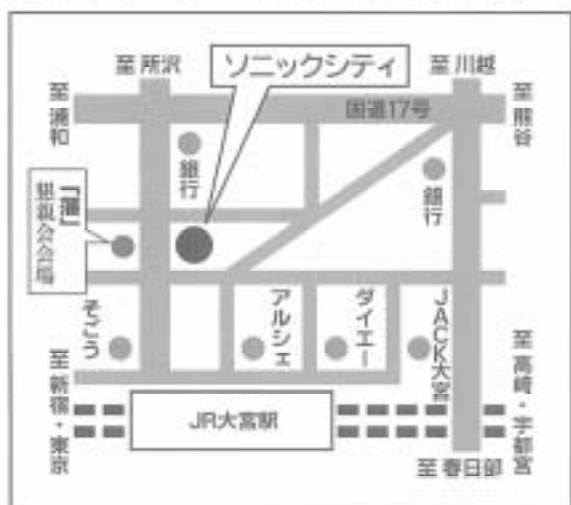
まとめと閉会あいさつ 大石 昌男

※敬称略・順不同

※発表者およびテーマは、予告なく変更になることがあります。予めご了承ください。



東京湾と荒川・利根川・多摩川を結ぶ 水フォーラム2009実行委員会



※JR大宮駅下車、西口から徒歩5分
(さいたま市大宮区桜木町1-7-5)
※地下に有料駐車場があります。

NPO法人 東京湾と荒川・利根川・多摩川を結ぶ水フォーラム
【事務局】 〒335-0025 埼玉県戸田市南町3-20
TEL/FAX 048-437-4334
ホームページ <http://www.water-forum.net>
メールアドレス info@water-forum.net

- 申込方法・お問い合わせ (当日参加自由)です
参加する方全員の氏名、担当者の連絡先(〒・住所・電話・FAX・E-mail)を明記してFAX、E-mailまたは郵送でお申し込みください。
また、昼食は指定業者の弁当のみ会場内で飲食が可能です。ご希望の方は、申し込みの際に人数を明記してください。1,000円、当日精算です。

主催◎NPO法人東京湾と荒川・利根川・ 多摩川を結ぶ水フォーラム [水フォーラム2009実行委員会]

■後援 環境省/国土交通省関東地方整備局/独立行政法人水資源機構/埼玉県および各市町村/群馬県/茨城県/栃木県/千葉県/神奈川県/東京都および各市区町村/NHKさいたま放送局/テレビ埼玉/朝日新聞さいたま総局/読売新聞さいたま支局/産経新聞さいたま総局/東京新聞さいたま支局/埼玉新聞社/埼玉日報社/上毛新聞社/茨城新聞社/下野新聞社/神奈川新聞社/(財)日本環境整備教育センター/(社)全国浄化槽団体連合会/埼玉県浄化槽連合会/共同通信社さいたま支局/ケーブルネット埼玉/FMえどがわ/日本水フォーラム/日本河川協会/全国浄化槽フォーラム/川を愛する浄化槽フォーラム埼玉/埼玉県浄化槽協会/埼玉環境検査研究協会/彩の川研究会/埼玉県緑のトラスト協会/東京城北環境カウンセラー協議会/戸田の川を考える会/秩父の環境を考える会/大宮河川愛護会/綾瀬川を愛する会/新方川をきれいにする会/群馬県自然保護団体連絡協議会/高崎の水を考える会/埼玉県河川環境団体連絡協議会(埼河連)/彩の川研究会/水とみどりの夢クラブ/新河岸川水系環境連絡会/横瀬川をきれいにする会/いきいき環境クラブ/埼玉県山岳連盟/荒川のうた合唱団/よみがえれ元荒川の会/環境大学修了生の会/とだ地球温暖化防止グループ/見沼の環境と自然を守る会/多摩川・水と緑研究会/足立区荒川ビジターセンター/多摩川流域ネットワーク/多摩川センター/ニッポン地域環境研究室/ATT流域研究所/見沼のかんぞうを映かせる会/笹目川の環境を守る会/宮代水と緑のネットワーク/荒川の源流郷こまどり荘/竹の洗剤を広める会/環境ネットワーク埼玉(地球温暖化防止センター)/さいたまNPOセンター/越谷NPOセンター/霞川ピオトープの会(青梅市)/千葉の干潟を守る会/環境パートナーシップちば/川の文化研究会/八潮の川をきれいにする会/元荒川をきれいにする会/鴻巣の環境を考える会/辰井川・毛長川の水と緑を守る会/春日部の川クリーン会/田んぼの学校をつくらう会/大中落環境保全会/緑川を豊かな環境にする会/荒川の自然と環境を守る会/まちづくり楽会/比企の川づくり協議会/埼玉ツーリズム協議会/東上線NPOネット/浦和中ロータリークラブ/えどがわエコセンター/見沼ホテル保存会/綾瀬川クラブ伊奈/ふるさと上谷沼地域創造塾/和光の自然環境を守る会/不老川をきれいにする会/元荒川の自然を守る会/元荒川・中川周辺の自然を守る会/川島ネイチャークラブ/聖川の自然とキタミソウを守る会/グランドワーク芝川/与野の水と緑を考える会/草加市環境推進協議会/エコネットくまがや/さやま環境市民ネットワーク/芝川の自然を守る会/荒川の自然を守る会/上山口のミヤコタナゴを守る会/彩の国資源循環工場と環境を考えるひろば/柳瀬川のミヤコタナゴ保存会/埼玉新聞サポーターズクラブ(SSC)/リバーキーバース/見沼の風/さいたま市一級河川東部連絡会/PSI協会/キリンビール/キザワ印刷/地域環境ネット/治水会・斉藤クリニック ※順不同